

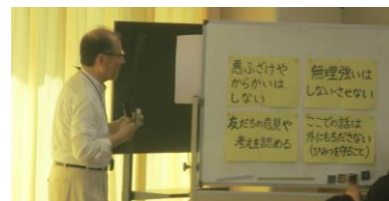
7月29日(月)「かわさき共生\*共育プログラム エクササイズ実践」

講師：元東京聖栄大学健康栄養学部教授/元川崎市教育委員 岡田弘先生



本研修では、「かわさき共生\*共育プログラム」の理論と方法についてのお話と、岡田先生の開発されたエクササイズの体験で構成された研修でした。共生\*共育プログラムについて理論や授業の進め方などを丁寧にお話いただき、改めてその価値や重要性を感じたとともに、ファシリテーターとして実践していく教員一人ひとりが大切な役割をもっているのだということを再確認することができました。

授業の進め方については、まず「4つの基本ルール」の重要性についてのお話がありました。安心安全の確保のため、4つの基本のルール(「悪ふざけやからかいはしないこと」「友だちの意見や考えを認めること」「無理強いはしないこと(させないこと)」「ここでの話は外にもちださないこと(秘密を守ること)」)は必ず確認して、心理的安全性を確保した上で活動することが大切なのだそうです。また、エクササイズ中にどんなタイミングで教員は介入すべきなのか、「わかちあい」は実際にどのように実施すればよいかなどについてお話いただきました。



実践の時間には岡田先生の開発された新しいエクササイズを体験しました。参加者のみなさん全員で、子どもが活動している際に感じているドキドキや楽しさを実際に経験しながらの研修となりました。



## 参加されたみなさんの感想(抜粋)

- ・岡田先生が参加者の安心安全を守る声かけをしてくださり安心して活動することができました。また、川崎の教員としてのがんばりを認めていただいたお言葉が温かく、とてもうれしかったです。
- ・エクササイズの時間は子どもたちも楽しんで活動していますが、そのときの教師の視点や子どもの見取り方を教えていただき、もっと理論を知って臨むべきものだと反省しました。
- ・「自分が子どもたちのメンターになる」という言葉がとても印象に残っています。子どもにとって頼れる、心の支えになる人とはどのような人なのだろうかと考えました。
- ・共生\*共育のエクササイズが好きで、学校でも毎回たのしく取り組んでいます。自分自身がエクササイズに参加することができ、楽しさや大切さに改めて気づくことができました。